

ハモコミとは「ハーモニーのあるコミュニケーションづくり」という弊社の社是の略。

一人ひとりが自分を輝かせ、その集まりが全体として調和しイキキしている様。会社ではツールで、この通信ではネタ話で、側面からそれを応援します。



発行 株式会社吉岐産業  
〒981-8006  
仙台市泉区黒松2-16-12  
責任者 長谷川嘉宏  
バックナンバーご覧いただけます  
<https://iki-sangyo.co.jp>

2004年4月号を創刊号におかげさまで丸15年。これからも気負わずコミュニケーションのネタを発信し続けていきます。生活に取り入れたり、仕事で生かすなどしていただけると本望です。どうぞお楽しみくださいませ。

## ◎忘れられない言葉

F氏には、30数年経った今も大事にしている言葉があります。

それは、あるセミナーの講師から教えられた言葉で、「志は高く、頭は低く、実践は足元から」というものです。

「人間は、どのような生き方をするかが大事である。人生には確かな生きる指針が必要である」という、講師の強い言葉が今も耳に残っています。

「志」とは、心の指す方向であり、理想や目標のことです。

「頭は低く」とは、心の姿勢であり、何事も謙虚な心を持って臨むことが大切だという意味です。わからないことは「どうか教えてください」とへりくだって他人(ひと)に聞く姿勢です。

F氏は、自分のことよりも他人のことを先にする、自利より利他を図る生き方を目標にしています。

この言葉に出会ったF氏は、明るい挨拶と返事、後始末という身近なことにも率先して取り組んできました。

これからも、この言葉を人生の指針として生きていこうと決意しています。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

## <コメント>

志という言葉の響きが好きです。理想や目標のこと、となっていますが、志のほうが強意志が感じられますし、その人の心が澄んでいる印象です。

私もハモコミづくりとその広がりを志し、泥臭い地道なことの積み重ねを繰り返し繰り返してやっています。一生道半ば(笑)。やりがい満点です。

曹洞宗道元禅師の言葉に「自未得度先度他(じみとくどせんどた)の心を発すべし」というものがあります。

『自らは未だ得ていなくても、まず先に他に得させてあげる』という意味のようで、聖書の「与えよ、さらば与えられん」と同じ意味で、本文と重なります。

争いは、我利我利亡者(がりがりもうじゃ=自分過剰優先者)になるところから生じているのは明らか。今の世相を象徴している気がします。

9歳で失明、18歳で聴力も失った福島智氏。しかし努力を重ね、なんと東京大学の教授になりました。先端科学技術研究センターにて、リハビリテーション科学、福祉工学などを研究されています。この福島氏の「僕の命は言葉とともにある」をプレゼントします。どうぞご遠慮なく。



## ◎吸い殻に感謝

30歳で念願の飲食店をオープンし、市内にも5店舗を有していたA氏。しかし、全国展開の大型レストランが進出したため、瞬く間に業績は悪化しました。

1店舗に縮小したのち、多額の借金を抱えての再出発となったのです。

A氏はこのことによって、自身の至らなさに気づきました。順調な業績に有頂天になり、贅沢(ぜいたく)をし過ぎていたこと、従業員への配慮が足りなかったこと、店の管理を疎(おろそ)かにしていたこと、儲かって当たり前と思っていたことなどです。

こうした反省を踏まえ、A氏は早朝に、店舗の駐車場の清掃を始めました。すると、捨てられた吸い殻が目に残りました。

以前のA氏は、《こんな所に捨てるなんて》と腹を立て、従業員に命令口調で掃除を指示していたのです。

ところが今は、「捨てられた吸い殻の数だけ、お客様が来てくださったのだ」と逆に吸い殻が愛おしく思えるのです。

A氏は毎日、駐車場の塵(ちり)を拾い、率先して店の掃除も行いました。その後、従業員や顧客の信頼が回復し、店の経営は徐々によくなっています。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

## <コメント>

A氏が再出発に際して自らを大いに反省したことは、吸い殻を愛おしく思える心に集約されていますね。

心が変われば物事に対する見方、感じ方が変わり、それが言動を変えて結果につながっていくのですね。

このコラムに出合ったこと自体、意味のあることと捉えたと、慢心を戒め、誰のおかげで今があるかについて、時間をとって心静かに振り返る必要を感じます。

さっそくやります！

業務用エアコンの平均寿命を調べたら15年程度となっていました。

この度更新した弊社のエアコンは実に24年選手！ありがたいやありがたいや。

感謝して室外機をきれいに掃除してから見送りました。

